



シスコ ヘッドセット 500 シリーズ 通話制御

- [シスコ ヘッドセット 520 シリーズとシスコ ヘッドセット 530 シリーズ 通話制御](#) (1 ページ)
- [シスコ ヘッドセット 560 シリーズ 通話制御](#) (4 ページ)
- [シスコ ヘッドセットマルチアプリ機能](#) (7 ページ)

シスコ ヘッドセット 520 シリーズとシスコ ヘッドセット 530 シリーズ 通話制御

ボタンのレイアウトは異なりますが、シスコ ヘッドセット 521、522、531、および 532 のインラインコントローラは同じコール制御を使用します。

関連トピック


[Cisco ヘッドセット 520 シリーズ](#)

[Cisco ヘッドセット 530 シリーズ](#)

通話の発信と応答



着信があると、ヘッドセットで着信音が聞こえます。

手順

インラインコントローラの **コール (Call)**  を押します。


音量を調整する

手順

インラインコントローラの [アップ (Up)]  または [ダウン (Down)]  を押します。


通話中に自分をミュートする

手順

インラインコントローラの ミュート (Mute)  を押します。

コールを保留にする

手順

インラインコントローラの コール (Call)  を 1 回押します。
着信コールがあると、ヘッドセットは自動的に応答します。


コールを終了する

手順

インラインコントローラの コール (Call)  を、トーンが聞こえるまで長押しします。


コールを拒否する

手順

インラインコントローラの **コール (Call)**  を 2 回押します。


コールを保留にする/保留中のコールを再開する

手順

-
- ステップ 1** インラインコントローラの **コール (Call)**  を 2 回押します。
 - ステップ 2** 再開するコールを選択します。
 - ステップ 3** [通話] を押します。
-


コールを終了して着信コールに応答する

手順

-
- ステップ 1** [コール (Call)]  を、トーンが聞こえるまで長押しします。
 - ステップ 2** [コール (Call)] を 1 回押します。
-

コールを終了して保留中のコールを再開する

手順

-
- ステップ 1** [コール (Call)]  を、トーンが聞こえるまで長押しします。
 - ステップ 2** 電話機で、再開するコールを選択します。
 - ステップ 3** [コール (Call)] を 1 回押します。
-

シスコ ヘッドセット 560 シリーズ 通話制御


標準ベースのシスコ ヘッドセット 561 と 562 およびマルチベースのシスコ ヘッドセット 561 と 562 は、有線ヘッドセットモデルと同様のコール制御を使用しますが、いくつか重要な違いがあります。コール制御ボタンはヘッドセットのイヤークップにあり、コールステータスのフィードバックは標準ベースとマルチベースにあります。

関連トピック


[シスコ ヘッドセット 560 シリーズ](#)

ヘッドセットの電源を入れる/切る

手順

ステップ 1 ヘッドセットの **コール (Call)**  を 4 秒間押し続けます。ヘッドセットのステータスを示すトーンが聞こえます。

ステップ 2 以下のいずれかの操作を行います。

- 1 秒間 **コール (Call)**  を押して、ヘッドセットの電源をオンにします。
- ヘッドセットをベースにセットします。

通話の発信と応答

手順

ヘッドセットの **コール (Call)**  を押します。

音量を調整する



手順

ヘッドセットの **音量 (Volume)**  を使用します。

通話中に自分をミュートする


手順

以下のいずれかの操作を行います。

- ヘッドセットの **ミュート (Mute)**  を押します。
- マルチベースの  を使ってミュートすることもできます。

コールを保留にする

手順


コール中にヘッドセットの **コール (Call)**  を押します。

- 着信コールがあると、ヘッドセットは自動的に応答します。

コールを終了する


手順

以下のいずれかの操作を行います。

- ヘッドセットの **コール (Call)**  を、トーンが聞こえるまで長押しします。
- ヘッドセットを基地に設置します。

コールを拒否する

手順

ヘッドセットの **コール (Call)**  を 2 回押します。

コールを保留にする/コールを再開する

手順

-
- ステップ1 ヘッドセットの **コール (Call)** を押します。
 - ステップ2 再開するコールを選択します。
 - ステップ3 [通話] を押します。
-

コールを終了して保留中のコールを再開する

手順

-
- ステップ1 ヘッドセットの **コール (Call)** を、トーンが聞こえるまで長押しします。
 - ステップ2 再開するコールを選択します。
 - ステップ3 [通話] を押します。
-

アクティブコールを終了して着信コールに応答する

手順

-
- ステップ1 **コール (Call)** を、トーンが聞こえるまで長押しします。
 - ステップ2 **コール** を一度押します。
-

別の発信元からのコールに応答する


ソースを切り替える前に、必ずアクティブなコールを保留にするか終了してください。マルチベースでソースを変更しても、アクティブなコールは自動的に保留になりません。

手順

以下のいずれかの操作を行います。

- ヘッドセットの **コール (Call)** を押します。

- マルチベースで、着信の発信元ボタンを押します。

(注) マルチベースで発信元を変更しても、アクティブな通話は自動的に保留にはなりません。発信元を切り替える前に、必ずアクティブな通話は保留にするか、終了してください。ヘッドセットの[通話 ]を押すと、アクティブな通話が自動的に保留されます。

シスコ ヘッドセットマルチアプリ機能

Windows または Mac デスクトップ上に複数の開いた通話クライアントがある場合、シスコヘッドセットモデルでコール制御機能を保持できます。開いているすべてのアプリケーションにボタンの押下をブロードキャストするのではなく、ヘッドセット制御は一度に1つの通話アプリケーションにのみ影響します。

たとえば、Webex アプリでアクティブなコールをミュートして、Jabber UI から着信 Cisco Jabber call に応答できます。Jabber call 中は、ヘッドセットを介した通話制御が Jabber だけに影響があります。Jabber call が完了すると、Webex コールを再開し、ヘッドセットから通話制御を維持できます。



- (注) デスクトップ上で複数の通話アプリケーションを開いている場合は、次の注意が必要です。
- 別のアプリケーションで着信通話に応答すると、アクティブコールが自動的に保留になります。別の通話アプリで着信通話に応答する前に、必ず1つのアプリケーションでコールを保留またはミュートしてください。
 - マルチアプリ制御は、Bluetooth または USB ケーブル経由の Webex (バージョン 41.8 以降) および Cisco Jabber (バージョン 14.1 以降) でのみ使用できます。

次の表に、マルチアプリをサポートするヘッドセットの最小ファームウェア要件を示します。

表 1: ファームウェア最低要件

ヘッドセットモデル	ファームウェアバージョン
シスコ ヘッドセット 520 シリーズ	ヘッドセットのファームウェア 2.3 (1) 以降
シスコ ヘッドセット 530 シリーズ	ヘッドセットのファームウェア 2.3 (1) 以降
Cisco ヘッドセット 560 シリーズ	ヘッドセットのファームウェア 2.1(1) 以降
シスコ ヘッドセット 730	ファームウェアのバージョン 1-6-0-150 以降

